

研究機関：広島大学

研究課題名	腎管状嚢胞癌のCT、MRI 所見に関する後ろ向き研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 放射線診断学教授 栗井 和夫
研究期間	平成 28 年 7 月(倫理委員会承認後) ~ 平成 31 年 6 月
対象者	平成 17 年 1 月から平成 28 年 3 月の間に、広島大学病院 泌尿器科において腎管状嚢胞癌、集合管癌、多房嚢胞性腎細胞癌、成人型嚢胞性腎腫、混合性上皮間質性腫瘍と病理診断された患者。平成 27 年 1 月から平成 27 年 12 月の間に乳頭状腎癌と病理診断された患者。
意義・目的	腎管状嚢胞癌については、稀な疾患であることから、その診断については専門医であっても困難な状況です。今回、広島大学を中心に全国約 20 施設の協力をいただいで、腎管状嚢胞癌の症例および対照となる疾患として、集合管癌、多房嚢胞性腎細胞癌、成人型嚢胞性腎腫、混合性上皮間質性腫瘍、乳頭状腎癌の症例を集めて、今後の診断（とくに画像診断）に活かすことが出来る様、この研究を計画しました。
方法	本研究は、これまでに撮影した CT、MRI、US および診療録（カルテ）情報を転記して行います。カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査（血清 Ca、血清 LDH、CRP 等）等です。（個人が特定出来る情報は転記しません）
共同研究機関	大分大学、亀田総合病院、川崎医科大学、京都桂病院、倉敷中央病院、慶応義塾大学、神戸大学、埼玉県立がんセンター、静岡県立静岡がんセンター、千葉大学、天神会新古賀病院、名古屋大学、弘前大学、横浜市立大学、琉球大学、など 本学に情報を集め解析します。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。一時的にデータが外部業者を介する形をとりますが、その際も個人の特定は出来ない形式で対応されます。
別紙（研究作業フロー表）参照	
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5257 広島大学病院 放射線診断科 助教 本田 有紀子